

中央アジア地域の留学生 受入強化と教育・研究充実に向けた 国際シンポジウム



日時：2010年 7月15日(木)
16日(金)

会場：筑波大学
大学会館特別会議室
(最寄り駅：つくばエクスプレス つくば駅)

主催：筑波大学

共催：カザフ国立大学
タシケント国立東洋学大学

後援：国際協力機構
国際交流基金

① 中央アジアに関する研究発表集会：

言語、日本語教育、教育

② 筑波大学の取り組み：

国際地域研究専攻、世界遺産専攻、持続環境学専攻、
学際物質科学研究センター、コンピュータサイエ
ンス専攻、北アフリカ研究センター、

③ 留学生教育に関するラウンドテーブル：

- ・日本語の伸びをどう捉えるか
- ・授業において教師はどのような役割を果たすのか
- ・日本語専攻・日本語講座が目指す専門性とは何か
- ・研究能力とは何か

15日(木)

9:15 開会式

9:45-11:10 ①研究発表

11:10-11:30 講演 中央アジア地域に対するJICAの取り組み

13:00-13:30 カザフ国立大学、タシケント国立東洋学大学の紹介

13:30-15:30 ②筑波大学の取り組み紹介

15:45-18:00 ③留学生教育に関するラウンドテーブル

16日(金)

9:00-11:25 ①研究発表

11:45 総括・閉会式

企画・運営 筑波大学中央アジア事務所 実行委員会 小野正樹・臼山利信・鈴木伸隆・一二三朋子

発表者：Temirbekov Nurlan Mukhanovich、Borankulova Samal、Shorina Dariyagul(カザフ国立大学)、Kim Natalya、Khalmurzaeva Nadira(タシケント国立東洋学大学)、三嶋健史(JICA)、衣川隆生(名古屋大学)、近藤行人(前タシケント国立法科大学名古屋大学日本法教育研究センター)、名嶋義直(東北大学)、筑波大学：稲葉信子(人間総合科学研究科 世界遺産専攻)、沼田善子(人文社会科学研究科 文芸・言語専攻)、辻村真貴(生命環境科学研究科 持続環境学専攻)、森尾貴広(北アフリカ研究センター)、池田豊(数理工学物質科学研究科物性・分子工学専攻)、北川博之(情報工学研究科コンピュータサイエンス専攻)、Tastanbekova Kuanysh(人間総合科学研究科 教育学専攻)、Muradova Ella(人文社会科学研究科 国際日本研究専攻)、Bekebasova Assel(人文社会科学研究科 国際地域研究専攻)、Nazirov Doniyor(人文社会科学研究科 国際地域研究)、Demezhan Adlet(人間総合科学研究科 教育基礎学専攻専攻)、小田桐奈美(人文社会科学研究科 文芸・言語専攻)、田中孝史(人文社会科学研究科)

・ 連絡先：029-853-3993 nna.masaki.ga@u.tsukuba.ac.jp

来聴歓迎